

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業を結ぶ情報紙 一 地域版一

発行
No.

32

発行日：2014年9月1日(月)

地域企業紹介 [その 32]

永進テクノ株式会社



多様な技術の融合が進化を支える

永進テクノ株式会社の鈴木道雄社長を相模原市中央区下九沢の本社工場に訪ねました。長い歴史を持つ同社の初めての自社ブランド製品である工作機械のクーラントタンク内の浮遊物・浮上油回収装置「エコイット」が注目を集めています。

同社の前身である永進鉄工株式会社は三菱重工業相模原製作所内に事務所を間借りし、工場内設備の修理をする会社として1974年に設立されています。その後、自社工場を建て、市内大手企業の工場設備の修理・改造や専用機製作を手掛けるなど業務を拡大していく。1998年には三菱重工業から「コーチェネレーション用配管ユニット」の設計・製造を受注するなど設備エンジニアリング企業へと変貌を遂げ、2000年には永進テクノ株式会社に社名を変更している。

鈴木さんは1976年生まれの38才。都内の事務機器商社での経理職を経て、2002年に叔父の久保徹夫氏が社長を務める同社に入社。同時期にいろいろな経験を持つ若い人材が10名程採用されている。設備エンジニアリング企業を目指し、会社を一から作り直そうとした久保前社長の思い切った決断だったのだろう。そんな時期に鈴木さんも永進テクノの一員となったわけだ。鈴木さんは学生時代にアルバイトとして同社で経理を手伝ったことがある。その時、「この会社を盛り立てたい」と思ったし「自分ならこう改革する」とも思ったそうだ。そして、会社の経営に関わることで自分の仕事のステージを変えたいとの思いが募り、永進テクノへの入社を決意する。入社してからは経理、購買、品質管理といろいろな仕事を経験する。そして、2009年に副社長に就任するが、リーマンショックで設備事業は壊滅状態で仕事は激減し、年商は四分の一まで落ち込み、前年同月比で十分の一という月もあったそうだ。製造、設計、営業すべてが暇になり、打つ手なしという状況だった。

(2面につづく)

永進テクノ株式会社

代表取締役 鈴木 道雄 (すずき みちお)

所在地：神奈川県相模原市緑区下九沢1630-2

従業員数：18名 資本金：3,000万円

売上高：3億2千万円（平成25年度実績）

事業内容：環境・生産改善装置「eco eit」の設計・製造・販売
コーチェネレーション発電機向け熱交換配管ユニットの設計・製造
製造工場向け生産設備及び周辺設備の設計・製造・工事・修理

エア懸垂式
水周りでも

浮上油

そんな中、顧客から金属加工部品の洗浄装置の製造を受託し、その装置に付属する「浮上油回収装置」を仕入れ、納入したことろ顧客から厳しいクレームを受け、やむを得ず自社開発することになる。いろいろなアイデアを盛り込んで完成させた「浮上油回収装置」は顧客に大変よろこばれ、永進テクノ初の自社ブランド製品として販売することになる。リーマンショック後の危機的な状況の中、とにかく、これに全力を傾けようと社員総出で装置を車に積込み、全国各地の工場現場に持ち込み実演しながら営業したそうだ。今でも続く、まさに油まみれの営業の始まりだ。テレビ東京の「トレたま」で紹介され、国内外の展示会に出展するなど少しづつ知名度を上げていった。そして、「切削工具の刃持ちは飛躍的に良くなった」という検証結果も得られトヨタ自動車など日本を代表するような企業からの大口受注が続く。1号機を販売してから3年10ヶ月になると2013年5月には累計1,000台を突破し、2014年1月には1200台と順調に売上を伸ばしている。国内販売を強化するために大阪に支店を出し、製造とアジアの営業拠点としてタイにも現地法人を設立した。

永進テクノの直近の売上構成はエコイット40%、コーポレーション用配管ユニット50%、工場内設備10%とリーマ

ンショックで激しく落ち込んだコーポレーション用配管ユニットも工場内設備も少しづつ持ち直している。

鈴木さんが社長に就任したのは2011年5月。エコイットの海外事業責任者としてタイでの営業から帰国した直後、前社長から突然社長就任を要請されたという。海外事業を任され経営の面白さと最終決断ができないもどかしさを感じていた時だったので迷いはなかったそうだ。社長は孤独で社員全員の生活を支える重さをいつも感じるが「自分で考えて、決めて、行動する」ことが性分にあっていると感じている。

エコイットは機械加工の効率化を進める大きな武器となる。クーラントタンク内の浮上油やスラッジを除去し、清浄化することで切削刃物の摩耗が減る。それが刃物の交換回数を減らし、工作機械自体の消耗を減らし、加工品質が向上するのだ。永進テクノは40年培った多様な技術を融合させクーラントタンク清浄化装置の更なる進化を目指す。日本そして世界の機械加工発展のために。



入居企業紹介

37

国内外のネットワークで 日本のものづくりに貢献する

株式会社アートプレシジョン

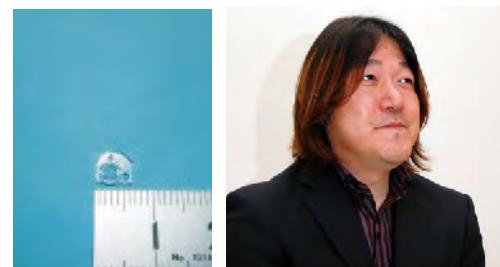
プラスチック量産金型及び試作金型の設計・製造販売などを行っている株式会社アートプレシジョンをご紹介します。

鈴木崇志社長が新卒で入社した会社は、従業員100名のプラスチック金型製造・販売を主な事業としている会社でした。しかし、長年勤めた会社が6年前に閉業し、同業の別の会社へ再就職。営業の仕事を通じてお客様と接する中で、顧客のニーズに合った仕事ができる会社を作りたいと思い、2011年、有限会社アート精密工業の相模原事業所として創業し、翌年5月に、株式会社アートプレシジョンとして独立しました。

鈴木社長は、半年間中国に滞在して提携先である中国上海のNIHON-MOLD (Shanghai) CO.,LTD.の金型工場の立ち上げに協力し、現在は同工場内に(株)アートプレシジョンの事務所を置き、約8割を同工場へ発注しています。製品のクオリティ、価格、納期など、必ずお客様の期待に応えることが出来ること、そして満足いただける製品を届ける事が出来ると鈴木社長は自負しています。

プラスチック試作金型製作では、最短7日間で納品が可能であり、通常成形型や2色成形型、インサート成形型など全て試作型にて対応が可能です。

「プラスチックの事なら任せてください。気軽に相談していただきたい。最近3Dプリンターに関するお問い合わせの中には、3Dプリンターで作ったものを更に綺麗に仕上げてほしいとの依頼をいただくことがあります。常にお客様の動向と業界を良く見て、新しいものを探して行き、これから先を見定めた事業をして行きたいと思っています。」と鈴木社長は話します。



鈴木 社長



「アジア経済事情と海外進出事例」



一マレーシア経済

2013年のマレーシアの実質GDP成長率は4.7%で前年に引き続きサービス業と建設業が成長を牽引した。2012年に18.6%と産業別で最も高い成長を記録した建設業は2013年は10.9%、GDPの55.2%を占めるサービス業は5.9%となった。製造業では主要輸出産業の電気・電子分野は2012年の2.2%から2013年は3.5%となり、製造業全体は3.4%となった。

2013年の貿易輸出は2.4%増、輸入は中国からの輸入が増えたこと等から7.0%増だった。輸出先ではシンガポール、中国、日本、米国、タイの上位5カ国で、輸出額の52.1%を占めた。輸入相手国は中国、シンガポール、日本、米国、タイの順で、これら5カ国で輸入額の51.2%を占める。

対日輸出は前年比4.4%減っており、輸出品目は全体の50.4%をLNGが占める。輸入品目は熱電子管、太陽電池、部品で全体の15.8%を占めた。

2013年マレーシアへの直接投資は前年比46.0%増と前年から一転大幅に增加了。業種別では電機・電子製品、国別では米国からの投資が最大で、前年1位だった日本は4位と後退した。

マレーシアの主要経済統計(2013年)

人口(人)	2,995万人
GDP	3,124億米ドル
一人当たりGDP	10,548米ドル
実質GDP成長率(%)	4.7
消費者物価上昇率(%)	2.1
失業率(%)	3.1
経常収支(100万リングギ)	37,273
貿易収支(サービスを含む・100万リングギ)	87,632
為替レート対米ドル(1ドル=)リングギ	3.2
為替レート対日本円(1円=)リングギ	0.032
主要政策金利(%)	3.0

(出所)ジェトロ 海外情報ファイルJ-FILEおよびマレーシア統計局資料から作成

一進出企業とJETRO支援サービス

ショッピングセンターや工場、病院等の建設にあたり、建設予算の削減や、スケジュール、品質を管理するコンストラクションマネジメント(略してCM)サービスを提供する株式会社プラスPM(大阪府)は、国内建設市場の縮小が見込まれる一方で、海外での建設需要は増加が見込まれていることから7・8年前から海外進出を検討していた。そのような中、大手取引先がマレーシアで事業拡大をすることに伴って現地でのCMの要望があり、それを機に進出を決意した。

マレーシアの利点として、プラスPM社は治安も良く大事な社員を出向させるにも安心できたという。また、ローカルの建築技術者採用の面で考えるとマレーシアがより適していると判断できたという。

戸惑った点では現地の労働観やライフスタイルを把握していないと問題に突き当たる可能性があることだ。スタッフの労働観も日本と異なる。マレーシアでは仕事を覚えると転職する傾向があり、賃金以外にもスタッフがモチベーションを保てるような工夫が必要だとプラスPMの木村社長は指摘する。また、ジェトロの専門家から、「有給制度を活用して、スタッフが一齊に年末に3週間程度の休みを取ることもある」などアドバイスをもらい、「有給休暇の取り方」など、業務が滞りなく稼働できるための細かい就業規則を専門家と相談しながら作成したのだ。プラスPMの取引先は既存顧客だけではなくマレーシアに進出する日系企業の需要も取り込んで販路を拡大していく予定だ。

マレーシア(クアラルンプール)の主な投資関連コスト(2013年)

	米ドル	現地通貨(リングギ)
賃金	ワーカー(一般工職)月額基本給	429 1,365
	エンジニア(中堅技術者)月額基本給	1,038 3,300
	中間管理職(課長クラス)月額基本給	1,785 5,674
	名目賃金上昇率	2011年…5.37%、2013年…6.78%
	社会保障負担率(事業主負担率)	12%~13%
土地	工業団地(土地)購入価格(1m ²) ※ウエストポート/アライアンスクアラルンプール市中心から70km	62 204
	事務所賃料(1m ² 、月額) ※クアラルンプール市中心	23 75
エネルギー	業務用電気料金(1kWh)	0.10 0.34
	レギュラーガソリン(1ℓ)	0.64 2.1
税	法人所得税	20%~25%
	付加価値税	売上税5%~20%、サービス税6%

(参考)ジェトロ「第24回アジア・オセアニア主要都市・地域の投資・関連コスト比較」より

山本のめしやレポート

とんかつ「かつ伴」

住宅街の奥まった場所にある美味しいとんかつ屋さんです。

昭和47年に創業。きれいなお庭と落ち着いた店内はご主人の趣味の良さを感じさせます。お座敷、テーブル、カウンターで40席ほど。とんかつはもちろんご飯、味噌汁、ひじきの小鉢、香物どれもとても美味しい。今回はSICスタッフ4人でホタテフライ、串かつ、サラダをあてにビールをぐいぐい。最後にロースかつ定食とひかれ定食をおなか一杯食べてきました。同僚やご家族と一緒にどうぞ。

住所:相模原市緑区西橋本2-24-21 TEL:042-771-9332
営業時間:AM 11:30~15:00 PM 5:00~9:00 定休日:木曜日





The HINT 15 SICミニセミナー

「外国語でのホームページやメールのやり取りの基本」

日本国内の中小企業であっても、海外企業や日本企業の海外現地法人と外国語でやり取りをする機会が増えています。たとえば、自社製品の問い合わせメールを英語で受けた際に、「英語での確に答えられているか」また、ホームページの英語版を作ったが、「こちらの伝えたい意図が、日本語のホームページと同じように英語で表現されているか」と不安になることがあると思います。

今回のセミナーでは、技術翻訳に長年携わった講師の方から、外国語(英語を中心に)でのホームページ制作やメールのポイントをお話していただきます。

※終了後は、個別相談にも応じます。

日時:9月18日(木)17:30-19:00

場所:SIC-2 大会議室 参加費:無料

講師:株式会社コンテックス

代表取締役 近藤 千奈美 氏



10月21日(火)The HINT No.16 [Web]

「中小企業のためのホームページ 制作・発注・運営のポイント」

11月13日(木)The HINT No.17 [財務]

「損益分岐点が分かる!!」～試算表を活用して、将来の資金計画を検討する～

※詳細は、後日ホームページにアップしてまいります。

SIC事業の報告



第29回南西フォーラム

7月2日(水)、町田市民フォーラムで開催。当地域が持つ潜在力を再確認するとともにこの地で活躍するアントレプレナーの話から産業の可能性と都市の未来を115人の参加者の皆様と考えました。



サガツクナビ「企業と就職課の交流会」

7月9日(水)、サン・エールさがみはらで開催。本交流会は、「地元企業と学校就職課のパイオニアづくり」を目的とし、地元企業29社33名、近隣の学校12校14名の皆様が参加されました。



The HINT No.14「展示会出展のヒケツ！」

7月17日(木)、SICミニセミナーを開催。「魅力あるブース作りや出展補助金のご紹介」に、15企業17名の皆さまが参加され、これからの展示会出展の参考にしていただきました。



第6回 創・蓄・省エネ フォーラム

7月28日(月)、サン・エールさがみはらで開催。『生命とエネルギーの源・水を科学する』をベースに、大学研究者及び地域企業の方々にご講演いただき、約35名の方が参加されました。



第14回子どもアントレプレナー体験キャンプ

8月15、16、17日の三日間、相模川ビレッジ若あゆやボーノ相模大野を会場に開催されました。小学5年生、6年生48名がビジネスプランの作成、融資交渉、商品製造、販売などにチャレンジし、無事全員が修了証を手にすることができます。

新興国進出 個別支援サポート

応募は今すぐ!



利用企業様を募集中です。

ジェトロ専門家による「新興国進出個別支援サポート」
海外拠点設立など新興国進出をお考えの中堅中小企業様を
ビジネス経験豊富なジェトロの専門家がお手伝いします。

詳しくは <http://www.jetro.go.jp/services/expert/>

お問い合わせ先：ジェトロ人材開発支援課

〒107-6006 東京都港区赤坂1丁目12番32号 アーク森ビル6階
Tel:03-3582-5397 E-mail:bue-shien@jetro.go.jp
平日9時～12時/13時～17時(祝祭日、年末年始を除く)



2014.9 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

9月13日(土)カイゼン・スクール開講

9月18日(木)SICミニセミナー The HINT No.15 【海外進出】

10月21日(火)SICミニセミナー The HINT No.16 【Web】

11月13日(木)SICミニセミナー The HINT No.17 【財務】

knock/
knock/

入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (2014年8月31日 現在)

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税別)
SIC-1 スモールオフィスB (17.3m ²)	2	47,600円
SIC-2 オフィス (50.2m ²)	1	149,600円
※10月から使用可能 オフィス (50.2m ²)	(3)	
SIC-3 現在空室はありません		

編集後記

今回の1面も前回に引き続き自社製品に取組む企業様の紹介です。多くの大工場が海外に移転し国内製造業の空洞化が進む中、競争力のある自社製品を持つことは企業発展のための大きな武器となります。今後もこうした取り組みを行っている企業を紹介していきたいと思います。

前号で紹介したSICカイゼン・スクールは皆様のご関心も高く、早々に定員に達しました。ありがとうございました。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想をお待ちしています。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>